

身近なサイバー犯罪に注意

パソコン・スマホ、スマートスピーカーやIoT 製品などの情報機器を皆が当たり前に使うようになった今、サイバー犯罪（ネット犯罪）は、企業や組織だけの問題ではありません。

最新の手口や対策を知り、日頃から一人ひとりがセキュリティ意識を高めることが大切です。

フィッシング

企業や金融機関を装ったメールやSMSから偽サイトに誘導され、IDやパスワードなどの個人情報やクレジットカード情報が盗まれ、銀行口座から不正に送金されたり、勝手に買い物される

偽ショッピングサイト

検索サイトで、検索した際、正規のショッピングサイトを装い、偽サイトへ誘導され、買い物した結果、商品が届かない、偽の商品が送られてくる

身近なサイバー犯罪

サポート詐欺

パソコンやスマートフォン等を使用していると、突然大きな警告音がなり、画面上に「あなたの端末がウイルスに感染しました」などの警告メッセージと共に、解決するための連絡先電話番号が表示され、表示された電話番号に電話すると、高額なサポート料金を請求される

SNS等を利用した 犯罪行為への勧誘

SNSやマッチングアプリ上で「闇バイト」「ホワイト案件」などの隠語を用いて、高収入を謳って仕事の募集をし、詐欺、強盗などの犯罪行為に加担させられる

サイバー犯罪の被害を防ぐために・・・

① セキュリティ関連のニュースに関心を持つ

→サイバー犯罪の手口は進化するため、常に最新の知識を身につける

② 検索やアプリを用いて正規のサイトにアクセスする

→メールやSMSに記載されたリンク先にアクセスすることは避け、検索サイトや専用アプリなどから正規のサイトにアクセスする

③ インターネットを利用して買い物をする時には十分注意する

→インターネットで買い物をする時には、値段が安すぎる、限定などの文句で購買を急がせる、日本語が不自然などの特徴がないか確認する

④ SNSの利用に注意する

→SNSを利用する際、人を傷つける、嘘、大げさな内容の書き込みをしない。また、素性の知らない相手に個人情報を送ったり、闇バイト等の犯罪行為への勧誘にのらない。